

第2回定例会代表質問

熱中症対策について

今年の夏も全国的に気温が高い傾向が続くと見込まれております。我が会派が昨年提出した緊急要望書を受け、本区ではクールシェアスポットの開設期間や施設数を拡充しています。また、区立保育園で始まる水泳プログラムでの熱中症対策や、今後の公園整備における暑熱対策を求めました。



公道カートについて

地域住民の安全・安心や住環境を守るため、昨年7月の条例改正により公道カート事業者に対する規制が強化されました。しかしながら、区外に事業所を構えて本区内を走行する事業者や文教地区での走行など、事業を取り巻く課題が解消されたとは言えません。諸課題の解決に向けて、事業者、警察や消防等の関連機関、及び近隣自治体と情報交換を行う協議体の設立を求めました。



ホノルル市との姉妹都市交流について

5月にホノルル市で開催された姉妹都市サミットに本区からも訪問団が参加し、今後の取組について意見交換がなされました。本区とより交流を深めるため、ワイキキにおいて渋谷をイメージさせるモニュメントの設置、子どもたち同士のeスポーツ交流、生涯スポーツとしてのピックルボールの推進などを提言しました。



ヤングケアラーについて

ヤングケアラーは本来大人が担うべき家事や介護などを日常的に行う子どもたちのことです。本人に自覚がない場合や家庭内の問題とされる場合も多く潜在化しやすいことから、実態調査を行うよう要望しました。また、早期発見や相談支援に繋げるため、子どもが自らの状況に気が付くことができるような周知啓発を求めました。



代々木大山公園での仮設校舎計画について

昨今の厳しい建設市況を鑑み、4月に学校建て替えロードマップが一部改定され、新たな仮設校舎として代々木大山公園敷地内の一部を活用した整備計画が示されました。同公園の少年野球場機能を維持しながら、公園機能と子どもたちのスポーツ環境を両立するよう提言するとともに、地域への安全対策や環境対策を徹底するよう求めました。



地域包括支援センターについて

地域包括支援センターの役割は年々拡大しており、令和5年度から障がい分野が、そして今年度から生活困窮分野への相談業務が開始されています。本年10月からは子どもとその保護者に関する分野が加わるとともに、終了時刻が19時から18時へ変更されます。業務拡大に見合う専門職員の充実、また利用者の利便性確保を行うよう求めました。



渋谷区議会
自由民主党議員団

渋谷区宇田川町1-1
(議員団控室)

丸山
たかし

文教委員会
官民連携事業調査特別委員会

斎藤
竜一

議員団幹事長・議会運営委員会 委員長
区民福祉委員会
交通・公有地問題特別委員会

一柳
なおひろ

渋谷区議会第77代 議長
総務委員会
自治権確立特別委員会

岡
みちる

都市環境委員会
多様性社会推進特別委員会 委員長

松本
翔
しょう

総務委員会 委員長
官民連携事業調査特別委員会

岡田
みほ

都市環境委員会
自治権確立特別委員会 副委員長

星野
愛

区民福祉委員会 副委員長
多様性社会推進特別委員会

最大会派として、責任ある区政運営を実現します！

ご意見・ご要望など、お気軽におよせください。TEL.3463-1034 FAX.5458-4960

自民党議員団の活動がHPで閲覧できます

